

# 「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクト

コスモ石油エコカード基金は、2002年4月に「地球のために何かをしたい」というお客様の思いと、コスモ石油の思いがひとつになって生まれました。

当基金は2002年4月に発行した『コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」』と、2006年6月に発行した『コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」』の会員(以下「エコカード会員」)の皆さまからの年間500円の寄付金と、コスモ石油グループの寄付金をもとに、地球環境貢献活動「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクトを展開し8年目を迎えました。

message

このたび、コスモ石油エコカード基金理事長に就任致しました松村秀登と申します。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

さて、皆さまもご存知のとおり、気候変動の影響が世界各地で深刻化する中、地球温暖化の防止は、今を生きる私たちの大きな責務といえるのではないのでしょうか。当基金では美しい地球を残していきたいという願いから「ずっと地球で暮らそう。」という合言葉の下、NPO/NGOのプロジェクトパートナーや大学の研究機関と活動を続けて参りました。

私たちは、石油と関りの深い「地球温暖化の問題」をテーマに、「持続可能な開発支援」ならびに「次世代の育成」をサブテーマに掲げ、植林活動や地域住民の自立、環境教育などの支援を国内外で展開しています。

地球規模での温暖化対策に関しては、今年の12月のCOP15でポスト京都の枠組みが決まる予定ですが、その一方で、地球温暖化の影響はますます深刻化しております。特に発展途上国の人々は、実際に直接的な被害を

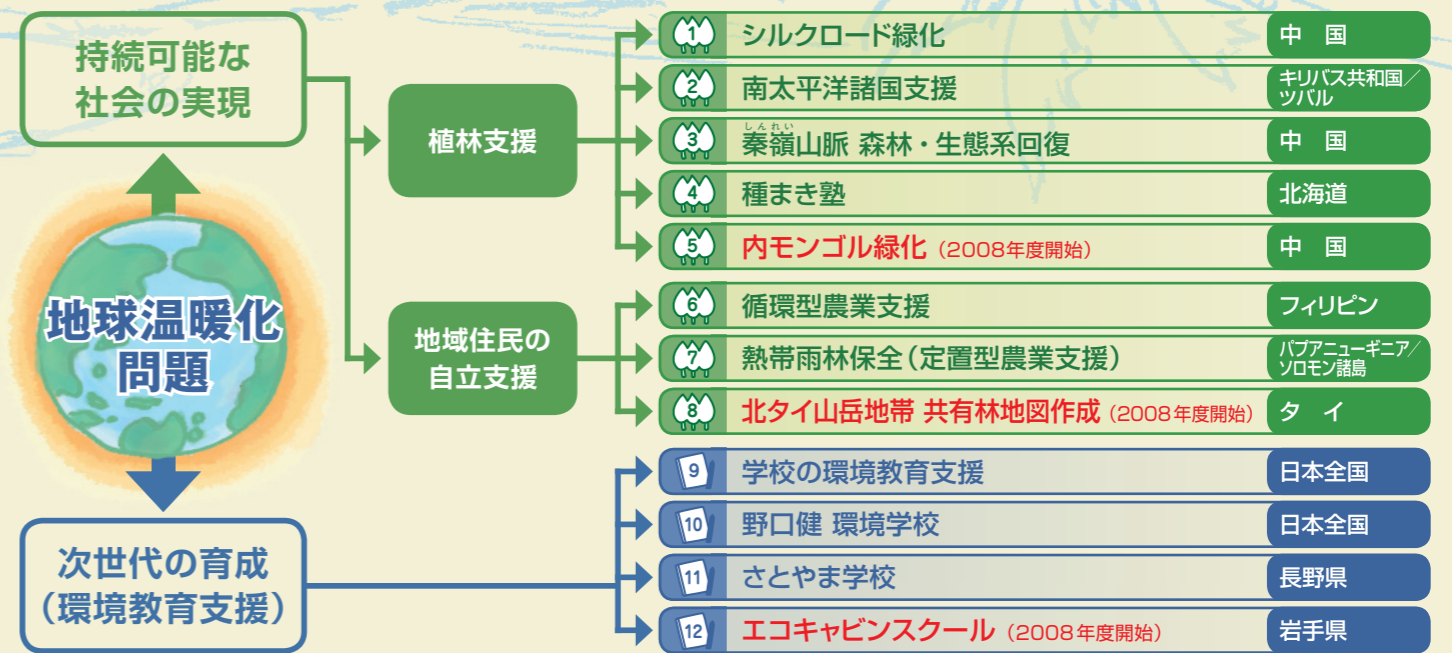
受けており、今この時も貧困に苦しみ、環境悪化で食糧や飲み水さえも手に入らない厳しい状況にさらされております。エコカード基金では2008年度に公募を実施し、新たに開始した3つのプロジェクトも加え、海外ではパプアニューギニア、ソロモンなどの南太平洋諸国及びアジアの国々への支援を積極的に行っております。一方、国内においては環境保全プロジェクトや次世代への環境教育支援等の活動を継続しております。

最後に、「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクトをご支援頂いているエコカード会員の皆さまに、心からお礼を申し上げます。私たちは、これからもエコカード会員の皆さまと地球環境保全への想いを共有し、今できることを実践して参ります。今後とも、温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

コスモ石油エコカード基金  
理事長 松村 秀登



## project 2009



## 持続可能な社会の実現

### 【プロジェクトコンセプト】

「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクトは、エコカード会員の皆さまやNPOやNGO、海外の現地政府など、さまざまなパートナーのご協力のもと、化石燃料である「石油」と関りの深い環境問題である「地球温暖化」への取り組みをテーマに、「持続可能な社会」づくりをめざす活動を進めています。「ずっと地球で暮らそう。」の合言葉の実現に向け、「持続可能な開発支援」と「次世代の育成」をサブテーマに、国内外で活動を継続しております。

コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」、コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」は、「地球のために何かしたい」という思いを実現するための、どなたでも参加できるカードです。

コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」、コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」はお客様から毎年お預かりする500円とコスモ石油からの寄付金を、環境保全活動を行うNPOや公益法人などに寄付することで、その活動をサポートしていきます。

コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」  
コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」  
会員の皆さまからの寄付  
入会后、及び次年度以降の入会月に  
500円の寄付をお預かりします

プラス

コスモ石油  
グループの寄付

地球環境保全をサポートする  
「ずっと地球で暮らそう。」  
プロジェクトを運営

グループ会社の  
コスモ石油エコカード基金への参加

コスモ石油のグループ会社であるコスモトレードアンドサービスのバッテリー「Eco Dyna」ならびにコスモ石油ルブリカンツの潤滑油「コスモECOシリーズ商品」の売り上げの一部をエコカード基金に寄付して頂いております。

Eco Dyna ▶ <http://www.cosmo-trade.com/goods/ct0027/rf0027.html>  
コスモECOシリーズ商品 ▶ <http://www.cosmo-lube.co.jp/car/eco.html>

### 2008年度の活動トピックス



西北大学生命科学学院  
李 保国教授

#### 中国の秦嶺山脈における活動実績

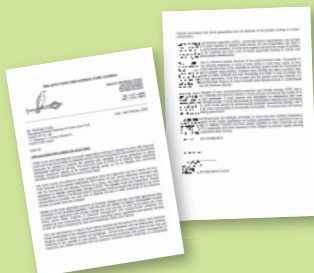
秦嶺山脈では商業伐採により、キンシコウやジャイアントパンダの生息地が荒らされ、絶滅が危惧されております。私たちは2005年度からコスモ石油エコカード基金による支援を受けており、商業伐採目的で作られ、現在では使用されていない道路に木を植えることにより野生動物が行き来できるよう、生息地の回復に努めております。2008年度は西北大学生命科学学院(以下、西北大学)の学生と付属の中等学校の学生がボランティアとして植林に参加しました。また

政府と共に地元住民を雇い、植林だけではなく、苗木が土地に根付くように管理、保護活動をしております。これらの活動は地元の新聞やテレビでも取り上げられました。さらに西北大学や中等学校では、「コスモ石油エコカード基金環境プロジェクトとキンシコウ保護」と題し、ポスターや写真を展示しました。また西北大学では、キンシコウの行動生態学、社会生態学の科学的な研究を継続的に行っており、7件の研究記事が国際ジャーナルに掲載されました。



### 〈会員の皆さまへ〉 ソロモン諸島 マライタ州農業委員会より 感謝状が届きました

このたび、定置型有機農業の技術指導支援に対して、ソロモン諸島マライタ州農業委員会から、エコカード会員の皆さまへの感謝状を頂きましたのでご報告いたします。



### コスモ・ザ・カード「エコ」会員の皆さまへ

ソロモン諸島の中で最も人口が多いマライタ州は、耕作地が狭く、さらに商業伐採や焼畑農業、気候変動による森林減少により、食糧不足の危機に瀕しております。

最近では、地震、津波、洪水など今まで経験したことのない規模の自然災害に加え、昨今の世界的な金融危機の影響も加わり、住民の生活は厳しい状態にあります。

そのような状況下、貧困の拡大を防ぐためにも、次世代を担う青少年へ農業を普及させるための研修プログラムを実施しております。その主な運営資金はコスモ石油エコカード基金からの寄付金です。私たちはコスモ石油エコカード基金の長年に渡る支援に大変感謝しております。

今後は、現状の研修プログラムの質を高めながらプロジェクトを継続し、焼畑農業から定置での循環型有機農業へ移行させるとともに、さらに他の地域にもこの活動を広げていきたいと考えております。

ソロモン諸島マライタ州農業委員会より  
コスモ石油エコカード基金に対して  
オリジナルシェルマネーネックレスを  
頂きました。

シェルマネー(貝貨)はマライタ州に残る伝統文化です。現在でも冠婚葬祭の礼金や特別な贈り物として使われます。今回は長年にわたるコスモ石油エコカード基金の温かいご支援に感謝し、現地の職人が特別にコスモ石油のロゴを入れて製作しました。

